

… トビイロウンカの発生に注意してください …

とくに出穂期の防除が行われていない圃場、  
収穫時期の遅い品種や作型では注意が必要です。

1. 発生状況

- 1) 7月13日を中心にトビイロウンカの飛来がありました。飛来量はほぼ平年並みでした。
- 2) 8月4～7日の巡回調査において、トビイロウンカの発生地点率は21.1% (平年4.3%)と平年に比べてやや多い傾向です。
- 3) 向こう1ヶ月の気温は高い見込みであり、トビイロウンカの発生に好適と思われます。

2. 今後の発生予測パターン



注) 世代交代の時期は今後の気温により前後する場合があります。(JPP-NET病害虫発生予測システム)

3. 防除対策

- 1) 防除の目安は、上記パターンを参考にして成幼虫の合計が1頭/株以上(即時防除)です。
- 2) トビイロウンカの発生は圃場毎、圃場内でも部分的に大きく異なるので、圃場全体の発生状況を的確に把握し防除の要否を判断してください。
- 3) トビイロウンカは株元に好んで寄生するので、防除は株元に薬剤が十分かかるように丁寧に行ってください。



株元の状況



粘着板への払い落とし (トビイロウンカ成幼虫)

**防除に当たっては、農薬の使用基準(適用作物、使用量又は濃度、使用時期、総使用回数)を遵守してください。**